

Rip@Lip

成人向け



-Rip@Lip 2008-

-Heaven-

かほっ

じゅん

シャドウ「クククッ…お前一人のペルソナでは
手も足も出ないだろう」

仲間の皆を遠距離ナビゲートしていたところを
シャドウに襲われ、気づいたらこの部屋に拘束されて
しまっていた。

りせ「や…いや…っ！先輩…
みんな…助けてっ」

シャドウ「無駄だ。この部屋からでは助けを
呼んでも誰もこないぞ？いずれお前も
ここの瘴気でシャドウと成り果てるがいい」

りせ「そっ…そんな…いや…」

りせ「んぷ…ん…はぷっ…」

シャドウ「おらっ 出すぞっ！」

啜えさせられているシャドウの肉棒がビクンと脈打つと、熱いものが喉の奥まで流れ込んできた。

りせ「んんっ！！んくっんくっ…」

シャドウ「くっ…おいおい…

なんでこんなに濡れてるんだ？まだ瘴気で理性が飛んじまったわけじゃないよな？」

シャドウに押し広げられたグジュグジュに濡れた自分の陰部が嫌でも目に入ってきた。

りせ「い…いや…なんで私…

こんなのうそ…うそだよっ…」

く
ん

い
っ
しょ

シャドウの硬い肉棒が奥に到達するたび
甘い声が喉から出てしまう。

りせ「んあっ！ あっあっ…」

シャドウ「なんだ？嫌がってたわりに色っぽい
声出てるぞ？こんな姿を仲間が
見たらどう思うかなあ？」

りせ「や…いやっ…もうやめて…
許してっ！」

シャドウ「ハハッ！もっと泣き叫べ！その声が
最高なんだよお…
また膣内に出してやるからなあ！」

りせ「だ…めっ！なかは…
んあああああっ！！」

あ、

ぐ

ぎ

ぐ

ぎ

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ

ど

ぐ

りせ「んっ…んぷっ…」

シャドウ「りせの水着姿もエロくて
たまんねーなあ！もう抵抗するどころか
自分から腰振ってやがるぜ」

りせ「ふあっ…すご…♥
きもちいいのお…もっと前も
後ろもズポズポ突いてえ！」

シャドウ「ククッ！もうお前は俺達の
おもちゃだ…望みどおり犯し
まくってやるからよ！」

りせ「ひゃああん 嬉しい！りせのこと
壊れるくらい犯しちゃっていいよお！」

ぐ
ぽん

ぽん
ぽん

ざわ..ざわ...

部屋中にマヨナカテレビ視聴者たちの
声が響く。

「すげ...あのりせちーが自分で
お○んこ広げてるぜ...」

「体中に精液かけられまくってるよ...
おい録画とかできねーのか？」

「ああ~俺もう我慢できね...
一発抜くわ！」

りせ「あは...っ...りせちーは...
ほんとはこんなにエッチなコなんだよお...
みんなに見られてゾクゾクしちゃう...♥
いっぱい私で抜いていいよお？」

とろろ

ニクニク

雪子「なっ・・・ここは・・・？」

シャドウ雪子「ふふっ・・・ようこそ私のお城へ・・・
あなたの本性をさらけ出させてあげる・・・」

雪子「い・・・いやっ・・・」

シャドウ雪子「あらあ？なにが嫌なの？こんな状況
なのに下着の下はどうなってるのかしら？」

雪子「ち・・・ちがっ・・・私はそんな・・・っ」





ちがっ
ちがっ
ちがっ

ちがっ
ちがっ
ちがっ

ハッ

ハッ

ぐっ
ぐっ

雪子「くっ…あっ！はあっはあっ」

シャドウ雪子「すごおい…お〇んに
ズッポリはまっちゃってる♡
気持ちよさそうだわあ」

雪子「そ…そんなこと…っ！んあっ」

シャドウ雪子「ふふっ…強がっても
分かってるのよ…だって私は
あなただもの…」

雪子「ちがっ…私はあなたとは…はあっっ！」

シャドウ雪子「うふふ…じゃあたっぷりと
体に聞いてあげる…シャドウに
犯されまくっちゃいなさい！」



はあ

はあ

雪子「ふあああっ♥やんっ！
すごい…こんな激しいの初めてっ♥」

シャドウ雪子「あははっ！ やっと本性が
出てきたわねえ？ そうよ、あなたは
犯されていやらしく感じちゃうんでしょ！」

雪子「んあああっ！ そ…そうですっ
縛られて犯されるの好きい…」

シャドウ雪子「うふっ…いいわあその顔
…たっくさん中に出してもらいなさい！」

雪子「ふうっ！ 出して♥いっぱい
私のお腹に出してええ！」

びんぎ

くしっ

ぶっちゅっ

ざまざま

雪子「ふふ…学校でするなんてドキドキしちゃう♥」

男子生徒「ちょ…っ！雪子さん
ほ…ほんとにいいんすか…？」

雪子「なあに？私の誘いを断るっていうのお？
ここに挿れたくてうずうずしてるんでしょ？」

男子生徒「そっそれは…うああ…っ」

雪子「くふ…ん♥すご…入っちゃった
こんなにビクビクして元気じゃない」

男子生徒「雪子さんこそ…すげ…
ヌレヌレっすよ？」

雪子「あんっ…あんっ！もっと
ビショビショに濡れさせてえ♥」

ドキ

ヌレ

ビショビショに濡れさせてえ♥

おまんこ

雪子「はあん！すごおい もっとお・・・
もっと深いコまで突いてえ♥」

男子生徒「まったく・・・忘れ物取りに
きてみりや・・・二人で楽しんでんじゃ
ねーよっ」

男子生徒「ははっ・・・しかし学校一の美人
雪子さんがこんなに淫乱だったとはね！」

雪子「あはっ・・・これが本当の私なのお
いつも・・・はっあ♥みんなに突っ込んで
ほしくて我慢できないのお」

男子生徒「へへ・・・っじゃあ雪子さんの
大好きなものいっぱいかけてあげるよ！」

男子生徒「こっちも膣内・・・だすぞっ！」

雪子「はあっあ♥イツく・・・私もイツちゃ・・・
ああああっ♥」

おにいちゃん

おにいちゃん

おにいちゃん

おにいちゃん

体中ほてって
きちゃったよお・・・
♥

やん・・・
センパイ私・・・
なんか酔っちゃった
みたい

はあ

はあ

すり♡

すり
すり

ねえ・・・
センパイの硬いの
ほしいなあ・・・
♥

センパイのために
私がいっぱいご奉仕
してあげるから・・・

わ♥すこ…
センパイのこころ…
こんなにのおっきく
なってる♥

もしかしてセンパイも
ずっと我慢してたのお？

こんなに硬くなって
かわいそう…

私が楽にして
あげるからね♥

れろ

んっ

なんか先っぽから
お汁出てきたよお？

えへ…
センパイのおちん○ん
おいしい♥

コシゅ
コシゅ
コシゅ

セリやる

じゅる

じゅる

ひゃあっ！
あっあ…

やんっ♥

ピカ

ピカッ

あふっ…

セ…
センパイの舌…
すこくいいよお！

ズルズル

ん♡ああ♡

センパイ・・・はやくここに挿れてえ・・・♡

いほあ...

はあん

もうこんなにとろとろだよ・・・

ふあぁっ♡あ♡

センパイの硬くてすこっ・・・きもちいいよう!

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

やだっ・・・声とまんない・・・っ菜々子ちゃん起きちゃう

あ♡
やあ♡

セ・ンパイ
膛内に・あ♡
なかに出してえ

セ・ンパイ
セ・ンパイ

グキョ
グキョ

奥まで当たって・・・
ひあ♡きもち・・・
いい♡

キョウ
キョウ

センパイのお
欲しいの

やあ・・・
いっぱい・・・入って
くる♡

どん
どん

わたしも・・・
いっ♡

あぁあぁあ♡
いっ♡

はっあ・・・

んん・・・

アッポッ

はっ

はっ

いっぱい

いっぱい・・・
出されちゃった♡

下

■■■ あとがき ■■■

こんにちは、水原優です。この本をお手に取っていただき、ありがとうございます。今回はペルソナ4を描かせていただきました！個人的にはいせちーはヴィジュアル的に好き、雪子は性格的に好きです。つまりどちらも好きです。でも一番好きなのはクマですけどね！クマコミュが一番感動しましたw冬コミまでもう2ヶ月ちょっと…はやいよス〇ッガーさん！ほんとスパロボはまり中の私には時間の経過がはやすぎますwでも冬コミ前に描きたいものもあるのでがんばります~^▽^

では次回イベントも楽しみにしています！

Special Thanks

★CG彩色★ 水涼
★デザイン★ mimu
★文字効果★ あすまん

■奥付■

発行

Rip@Lip

発行日

2008/10/5

印刷

関西美術印刷様

Rip@Lip ホームページ

<http://riplip.sblo.jp/>



-Rip@Lip 2008-

-Heaven-